

日本研究所主催講演会

世界の中の日本 第8回

2022年

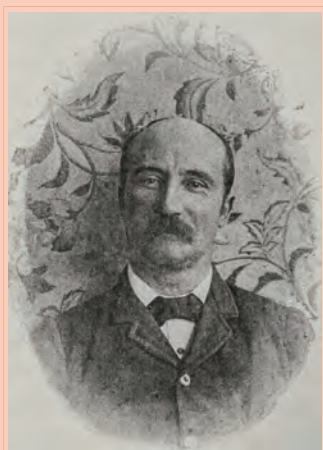
7月6日(水)

16:30～18:00(5限)

開催方法:オンライン(Zoom)

講演言語:日本語

【参加費無料】



フランシス・ブリンクリー肖像
(Henry Norman, *The real Japan*,
London, 1892 所収 本学附属図書館蔵)

日本の近代化を目にした 西洋人知識人にとって 「日本伝統文化」の意味するもの ーフランス・ブリンクリーの武士道と日本陶磁研究



村井昌弘編輯「単騎要略被甲辨」国文学研究資料館蔵

「明治期のジャパノロジーにおける武士道
ーフランス・ブリンクリーの『Japan: Its History,
Arts, and Literature』を中心にー」

講演者: ムスタツェア・アレクサンドラ 先生
(神田外語大学 国際コミュニケーション学科 特別専任講師)

「西洋の王侯貴族が愛した柿右衛門様式磁器の乳白色
ーフランス・ブリンクリーの研究が与えた影響ー」

講演者: 櫻庭 美咲 先生 (神田外語大学 日本研究所 講師)



色絵草花鶴文輪花皿 有田・南川原山 佐賀県立九州陶磁文化館蔵

本講演会では、親日家として知られた明治期の英国人フランシス・ブリンクリーが日本研究を総合的な視点からまとめたシリーズ本 *Japan: Its History, Arts, and Literature* (本学附属図書館蔵) をとりあげます。ブリンクリーは 1867 年にアイルランドより来日後、帝国工部大学校数学教師を経て、*Japan Weekly Mail* の経営者となり没年(1912)まで東京に暮らしました。彼は、日本最良・味方・親友といわれ同時代の日本人の理解と信頼を得、大隈重信等政界との結びつきも深く勲二等旭日章を受勲するほど敬慕されました。ブリンクリーは、英国人の代表的日本研究者であるサトウ、アストン、チェンバレンに匹敵する、英国の最も重要な日本研究者の一人として西欧で認められるべき存在といえます。本書の多様な研究テーマから武士道、および日本陶磁の研究を紹介します。(本講演は日本研究所が主催する共同研究プロジェクトの研究成果の一部です。)



【参加申込】

こちらの QR コード
からお申込みください

※要:事前申込

【お問合せ】
神田外語大学 日本研究所

千葉市美浜区若葉 1-4-1 TEL: 043-273-1389
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/main/labo/rijs/>